

マレーシアのグリーン・タウンシップ構想の支援

日本総研、東芝、IBM、清水建設、明電舎、トヨタ通商、NEC、三井住友銀行

NEDO「マレーシアにおけるグリーン・タウンシップ構想実現のための基礎調査」(2011年度) ⑳



「グリーン・タウンシップ構想」とは、首都機能の一部を移転した「プトラジャヤ」と IT・マルチメディア産業の中心である「サイバージャヤ」の両市を環境都市として開発する国家プロジェクト

NEDOがマレーシアのエネルギー・環境技術・水資源省(KeTTHA)の要請を受けて行った協力事業。環境都市を実現するため、エネルギー管理、都市交通、廃棄物及び水、都市環境の分野のアクションプランを提案。

マスタープランづくりから参入することで、①日本標準の技術による展開と②コア分野を核として関連分野まで含めた総合展開をねらいとするもの。

低炭素都市づくりのためには都市運営の基盤である“City Behavior”(マネジメント、ステークホルダーの関係、文化、地域社会と教育、技術、ビジネス環境)を変革・再構築することを問題提起。

リーディングプロジェクト／メカニズム構築の第一として低炭素まちづくりパートナーシップを提案。複数ビルの横串と供給・需要の両サイドの縦串を刺すことで、情報を共有し、アクションプラン全体を推進するPDCAプラットフォームを構築

今後、本事業の参加日本企業がコンソーシアムを組んでビジネス展開を検討。

